

# 市民協働事業 相互評価シート

## 1 市民協働事業の概要

事業名称	令和4年度 さかえ区民活動センター運営事業	
事業の実施者	団体等	横浜市福祉サービス協会・さかえ区民活動支援協会グループ
	行政	横浜市
事業の目的	市民公益活動、生涯学習活動及びボランティア活動の支援を通して、市民の参画をもとに、区民力の向上により豊かな地域づくりを図ることを目的として、さかえ区民活動センター事業を行う。	
事業の内容	(1) 開業準備 (2) センターの運営に関する事 (3) センター事業に関する事 (4) 事業改善に関する事 (5) 施設管理に関する事	
役割及び責任分担等	協働契約書のとおり	
実施期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日	

記入日	令和5年4月30日
記入者	[団体等] ・団体等名： 横浜市福祉サービス協会・さかえ区民活動支援協会グループ ・記入責任者 氏名： 柴田 眞紀 連絡先： 045-392-5157
	[行政] ・部署名： 栄区役所地域振興課 ・記入責任者 氏名： 谷川 みちる 連絡先： 045-894-8393

### 3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

<b>事業の計画づくり</b> (協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
<b>【共有できたことや認識に違いがあったこと】</b> ・区民活動センターのほか、地区センター及び地域ケアプラザの三つの機能が一体となった市内初の複合公共施設 SAKAESTA の開所から1年4ヶ月が経ち、区民活動センターも徐々に認知されてきている。 ・横浜市福祉サービス協会・さかえ区民活動支援協会グループ(以下「団体」という。)と行政とで、毎月、定例会議を開催し「市民活動支援センター事業展開ガイドライン」等を基に、お互いの認識のすり合わせを行うなど、議論を重ねることができた。
<b>【今後改善が必要と思われること】</b> ・区民活動センターは、区に一つの設置であることを踏まえ、区内全域の公共施設との連携を強化する必要がある。そのため、栄区社会福祉協議会や地域ケアプラザの連絡会などにも定期的に参加し、情報を集め、より地域のニーズ対応した事業を計画していきたい。
<b>事業実施</b> (協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
<b>【共有できたことや認識に違いがあったこと】</b> ・10月に、専門家を招き、令和4年度生涯学習講演会「実朝の時代」を「主催 栄区」、「協力 さかえ区民活動センター」で開催し、区民活動センターを広く周知する場としても活用することができた。 ・11月に、SAKAESTAのお祭り「SAKAESTA フェスタ 2022」を開催し、区民活動センターの「人財バンク」に登録している方の紹介や発表を行うことができた。 ・3月に、栄区内の施設間の交流を図るため、区民活動センターが施設交流会を開催した。意見交換を通じ、施設間でのつながりや連携のきっかけとなる有意義なイベントとなった。
<b>【今後改善が必要と思われること】</b> ・団体と行政と対等の立場で、事業実施に向けた意見交換を行うことができています。今後は、事業の目標、ニーズ、対象等に対し、お互いに一層の意識の統一を図り、より効果的な事業の実施となるよう連携していきたい。
<b>事業の成果</b> (協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)
・団体は、地域で活躍する人・団体の情報が集まりやすく、土曜日・日曜日、区民・団体からの相談に対応することができる。一方、行政は、区民への知名度と信頼度が高く、情報発信にも優れている。このような長所をお互いに活かし合いながら、事業を計画・実施し、成果を高めていきたい。
<b>自由記入欄</b>